

野田市
流山市
我孫子市
柏市
松戸市
鎌ヶ谷市
市川市
浦安市
習志野市
千葉市
四街道市
八千代市
船橋市
白井市
印西市
栄町
本埜村
印旛村
成田市
酒々井町
富里市
芝山町
多古町
香取市
東庄町
旭市
銚子市
匝瑳市
横芝光町
山武市
東金市
九十九里町
大網白里町
白子町
長生村
一宮町
睦沢町
いすみ市
御宿町
勝浦市
大多喜町
長南町
長柄町
市原市
袖ヶ浦市
木更津市
君津市
富津市
鋸南町
鴨川市
南房総市
館山市

第1次商圈
第2次商圈
第3次商圈

(2) 旧市町村区界での前回調査との比較

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は千葉市1市のみで変わらない。
- ・第2次商圏は5市5町であったうち、2市1町が第3次商圏に移動し、1町が圏外に出たものの、第3次商圏から1市2町が入り、また、1町が新規に入ったことから、数に変化はないが4市6町となった。
- ・第3次商圏は4市10町2村であったうち、1市2町が第2次商圏へ移動し、1市1町が圏外に出たものの、2市1町が第2次商圏から入り、2市4町が新たに入ったことから、4増して6市12町2村となった。
- ・商圏全体では、前回調査では27市町村（10市15町2村）であったものが、4増して31市町村（11市18町2村）となった。

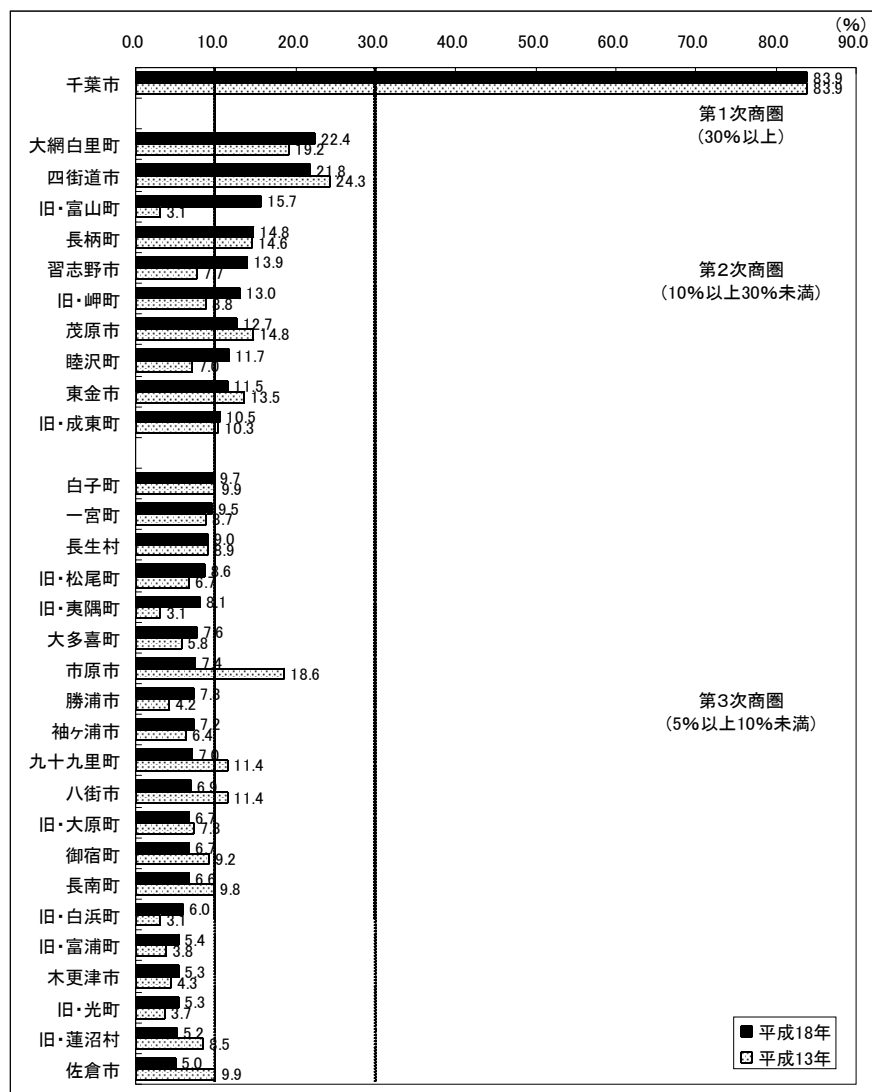
○商圏人口：前回調査時（2,172,861人）から増加して2,325,419人となった。（前回比＋7.0%）

○商圏内吸引率：前回調査時（42.2%）から低下して39.4%となった。（前回比▲3ポイント）

○吸引人口：商圏人口は増加したものの、吸引率がやや低下したので、前回調査時（917,099）から微増で917,305人になった。（前回比＋0.02%）

○吸引力：吸引人口が変わらない中で、自市の人口が増加（＋1%）したことから、吸引力は前回調査時（102.4%）から低下して98.6%となった。（前回比▲4ポイント）

図Ⅳ－１－５ 千葉市の吸引状況の変化（旧市町村区界）



(3) 市町村合併による市町村区界変化に伴う変化

○商圏内市町村数

- ・第1次商圏は千葉市のみで変化はない。
- ・第2次商圏は、旧市町村区界では4市6町であるが、1町が合併後（合併新市が）圏外に出て、2町が（合併新市として）第3次商圏に移動したことから、3減して4市3町となった。
- ・第3次商圏は、旧市町村区界では6市12町2村であるが、4町村が合併により2市となり、3町が合併後（合併新市が）圏外に出たことから、5減して8市6町1村となった。
- ・商圏全体では、旧市町村区界では31市町村（11市18町2村）であるが、新市町村区界では8減して23市町村（13市9町1村）となった。前回調査時の27市町村（10市15町2村）との比較では4減となった。

↓

↓

(現市町村区界での商圏の前回調査との比較)

○商圏人口：現市町村区界での商圏人口は前回調査時（2,172,861 人）から増加して
2,313,127 人となった。（前回比＋ 6.5%）

○商圏内吸引率：前回（42.2%）から低下して 39.6%となった。（前回比▲ 3 ポイント）

○吸引人口：前回（917,099 人）から減少して 915,490 人となった。（前回比▲ 0.2%）

○吸引力：前回（102.4%）から低下して 98.4%となった。（前回比▲ 4 ポイント）

(4) 衣料品購入における商圏内市町村の具体的な変化

○衣料品購入における千葉商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１－２に示す。

表Ⅳ－１－２ 千葉商圏の市町村の変化（衣料品）

衣料品 商圏 (基準吸引率)	平成13年 市町村		平成18年(旧・市町村区界) 市町村			平成18年(現・市町村区界) 市町村	
		平成18年 での変化		平成13年 からの 変化	市区界変化 による商圏 からの移動		平成13年 からの 変化
第1次 (30%以上)	計	1	計	1		計	1
	千葉市		千葉市			千葉市	
第2次 (10～30%未満)	計	10	計	10		計	7
	※ 市原市	第3次へ	※ 習志野市	第3次から		※ 習志野市	第3次から
	※ 四街道市		※ 四街道市			※ 四街道市	
	※ 八街市	第3次へ	※ 旧・富山町	新規	×(南房総市)	※ 睦沢町	第3次から
	※ 茂原市		※ 茂原市			※ 長柄町	
	※ 長柄町		※ 睦沢町	第3次から		※ 東金市	
	※ 東金市		※ 長柄町			※ 大網白里町	
	※ 大網白里町		※ 旧・岬町	第3次から	△(いすみ市)		
	※ 九十九里町	第3次へ	※ 東金市				
	※ 旧・成東町		※ 旧・成東町		△(山武市)		
	※ 旧・山武町	圏外へ	※ 大網白里町				
第3次 (5～10%未満)	計	16	計	20		計	15
	※ 習志野市	第2次へ	※ 市原市	第2次から		※ 市原市	第2次から
	※ 佐倉市		※ 佐倉市			※ 佐倉市	
	※ 酒々井町	圏外へ	※ 八街市	第2次から		※ 八街市	第2次から
	※ 袖ヶ浦市		※ 木更津市	新規		※ 木更津市	新規
	※ 一宮町		※ 袖ヶ浦市			※ 袖ヶ浦市	
	※ 睦沢町	第2次へ	※ 旧・富浦町	新規	×(南房総市)	※ 一宮町	
	※ 長生村		※ 旧・白浜町	新規	×(南房総市)	※ 長生村	
	※ 白子町		※ 一宮町			※ 白子町	
	※ 長南町		※ 長生村			※ 長南町	
	※ 大多喜町		※ 白子町			※ 勝浦市	新規
	※ 御宿町		※ 長南町			※ いすみ市	☆
	※ 旧・大原町		※ 勝浦市	新規		※ 大多喜町	
	※ 旧・岬町	第2次へ	※ 旧・夷隅町	新規	○(いすみ市)	※ 御宿町	
	※ 松尾町		※ 旧・大原町		○(いすみ市)	※ 山武市	☆
	※ 蓮沼村		※ 大多喜町			※ 九十九里町	第2次から
	※ 八日市場市	圏外へ	※ 御宿町				
			※ 旧・蓮沼村		○(山武市)		
			※ 旧・松尾町		○(山武市)		
			※ 九十九里町	第2次から			
			※ 旧・光町	新規	×(横芝光町)		
合 計		27		31			23

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内 △印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市

(5) その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における商圏内市町村の具体的な変化

○その他の品目の購入における千葉商圏内の市町村の具体的な変化を表Ⅳ－１－３に示す。

表Ⅳ－１－３ 千葉商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成13年 市町村		平成18年(現・市町村区界) 市町村	
			平成13年 からの変化	
食料品	第1次 (30%以上)	計 1	計 1	
		千葉市	千葉市	
	第2次 (10～30%未満)	計 0	計 0	
	第3次 (5～10%未満)	計 3	計 4	
		習志野市 四街道市 長柄町	習志野市 四街道市 長柄町 ※ 大網白里町 新規	
	合 計	4	5	
飲食	第1次 (30%以上)	計 1	計 2	
		千葉市	千葉市	
	第2次 (10～30%未満)	計 4	※ 四街道市 第2次から 計 3	
		習志野市 ※ 市原市 第3次へ ※ 四街道市 第1次へ 大網白里町	※ 習志野市 ※ 長柄町 第3次から 大網白里町	
	第3次 (5～10%未満)	計 2	計 2	
	合 計	7	※ 市原市 第2次から ※ 東金市 新規 7	
贈答品	第1次 (30%以上)	計 4	計 3	
		千葉市 ※ 市原市 第2次へ 四街道市 大網白里町	千葉市 四街道市 大網白里町	
	第2次 (10～30%未満)	計 19	計 19	
		佐倉市 八街市 酒々井町 袖ヶ浦市 茂原市 一宮町 白子町 長柄町 長南町 勝浦市 御宿町 旧・大原町 ○(いすみ市) 旧・岬町 ○(いすみ市) 東金市 九十九里町 ※ 旧・成東町 △(山武市) ※ 旧・山武町 △(山武市) ※ 旧・横芝町 △(横芝光町) ※ 旧・蓮沼村 △(山武市)	※ 習志野市 第3次から 市原市 佐倉市 八街市 酒々井町 ※ 木更津市 第3次から 袖ヶ浦市 茂原市 一宮町 ※ 睦沢町 第3次から ※ 長生村 第3次から 白子町 長柄町 長南町 勝浦市 いすみ市 ☆ 御宿町 東金市 九十九里町	
	第3次 (5～10%未満)	計 14	計 11	
	合 計	37	八千代市 富里市 君津市 富津市 鴨川市 ☆ 大多喜町 山武市 ☆ 横芝光町 ☆ ※ 芝山町 新規 ※ 匝瑳市 ☆ ※ 神崎町 新規 33	

※印は変化(商圏内の階級移動、圏外流出、新規商圏)のあった市町村

○印は市町村合併後も新市が同一階級もしくは上位階級の商圏内

△印は市町村合併後も新市が商圏内も商圏階級が低下

×印は市町村合併後は新市が商圏外 ☆印は市町村合併市